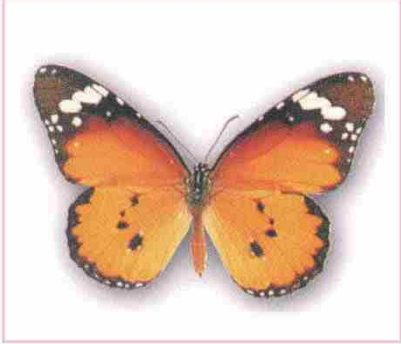


ワークシート⑤ (コピーして使って下さい)

マダラチョウの仲間

カバマダラ 38mm内外 沖宮八



スジグロカバマダラ 40mm内外 宮八



オオゴマダラ 75mm内外 沖宮八



リュウキュウアサギマダラ 45～50mm内外 沖宮八



アサギマダラ 45～50mm内外 沖宮八



ツمامラサキマダラ 50mm内外 沖



シジミチョウの仲間

クロマダラソテツジジミ 15mm内外 沖



ヤマトシジミ 13mm内外 沖宮八



自然

ワークシート⑥ (コピーして使って下さい)

タテハチョウの仲間

ツマグロヒョウモン 36mm内外 沖宮八

♂ 雌

リュウキュウミスジ 30mm内外 沖宮八

表 裏

ルリタテハ 35mm内外 沖宮八

表 裏

アオタテハモドキ 25mm内外 沖宮八

♂ 雌

タテハモドキ 30mm内外 沖宮八

表 裏

コノハチョウ 48mm内外 沖宮八

表 裏

イシガケチョウ 35mm内外 沖宮八

表 裏

スミナガシ 41mm内外 沖宮八

表 裏

リュウキュウムラサキ 43～50mm内外 沖宮八

♂ 雌

自然

ワークシート⑦

（コピーして使って下さい）

タテハチョウの仲間

フタオチョウ

♂43/♀50mm内外 沖



アカタテハ

32mm内外 沖宮八



ヒメアカタテハ

27mm内外 沖宮八



ジャノメチョウの仲間

リュウキュウウラナミジャノメ

22mm内外 沖



表



裏

リュウキュウヒメジャノメ

24mm内外 沖宮八



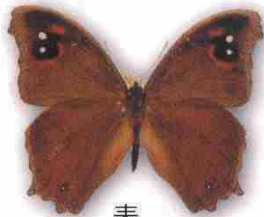
表



裏

ウスイロコノマチョウ

38mm内外 沖宮八



表



裏



秋裏

講師用資料①

ワークシート①回答例

<ポイント>

- ・ワークシート③～⑦を用い、チョウの見分け方のポイントを教える。
- ・どんな場所に、どのチョウがいたのか意識して観察する。総合判定の場所に記入する。
- ・点数を集計し、点数と総合判定について、各グループ（人）で発表してもらう。

チョウを観察して記録しよう

記入例)

調査年月日	H30年 8月 18日	天候	はれ	調査地	与那川沿いの森林						
調査時間	11時00分 ～ 12時00分 (60)分間			調査員	〇〇子供会						

環境		種名	点	確認数	環境		種名	点	確認数	
人為的影響の強い環境	ランク1	シロオビアゲハ	1		豊かな緑の残る環境	ランク4	モンキアゲハ	4	6	
		キチョウ	1				クロアゲハ	4		
		モンシロチョウ	1				コノハチョウ	4		
		カバマダラ	1				テングチョウ	4		
		ツマグロヒョウモン	1				オキナワカラスアゲハ	4		
		ヤマトシジミ	1				ミカドアゲハ	5		
	ランク2	ウスイロコノマチョウ	2			ランク5	非常に稀	リュウキュウウラナミジャノメ	5	
		モンキチョウ	2					フタオチョウ	5	
		アオタテハモドキ	2					スミナガシ	5	
		タテハモドキ	2			集計	1点	2点	3点	4点
アカタテハ		2		種類		3	2	1		6
ヒメアカタテハ		2		得点		6	6	4		16
まとまった緑の残る環境	ランク3	イシガケチョウ	2	3	総合判定	ランク2～4のチョウが確認でき、主に「森林性」の種類でした。 このあたりは、「まとまった緑の残る環境」であることがわかりました。 森林環境にも関わらずウスキシロチョウが多いのは、本種の食草のゴールドデンシャワーが展望台の周囲に植栽されているためだと思われました。葉には卵や幼虫も観察できました。				
		ウスキシロチョウ	2	17						
		ウラナミノチョウ	2							
		ナミエシロチョウ	2	2						
	山地林	オオコマダラ	2							
		ツマベニチョウ	3							
		リュウキュウアサギマダラ	3							
		アサギマダラ	3							
		ツمامラサギマダラ	3							
		ジャコウアゲハ	3							
アオシアゲハ	3	4								
ナガサキアゲハ	3	7								
リュウキュウミスジ	3									
ルリタテハ	3									
リュウキュウヒメジャノメ	3									

【参考資料：対象としたチョウ類のランク分けの基準】

生息環境	ランク	主な食草の生育環境	チョウの出現状況
草地性	1	食草は草地に自生する草本類や栽培作物など	市街地～山地の林縁・果樹園などに広く出現する種
	2	主な食草は草地に自生する草本類 主な食草はツル植物・樹木	草地に多い種 栽培により市街地～山地まで広く出現する種
森林性	3	主な食草は海岸林～山地森林に自生するツル植物や樹木	小面積の御嶽林や公園緑地にも出現する
	4	主な食草は内陸部の低地林～山地森林に自生するツル植物や樹木	まとまった森林に多く見られる種
	5	主な食草は山地森林に自生するツル植物や樹木	まとまった森林に出現し、個体数は少なく稀な種

講師用資料②

ワークシート②回答例

<ポイント>

- ・チョウの生息状況から見える沖縄の環境について考えてもらう。
- ・チョウを含めた在来の自然を守るために、私たちにできることを考えてもらう。

振り返り

確認できたチョウの種類・数から、調査地はどのような「緑の環境」と言えそうですか？

- 調査票の結果から、みどりの豊かな森林環境であることが見えてきた。
- 身近なチョウと違う種類が見られたのは、生えている植物が違うからだと思う。

チョウが多く（種類も個体数も）暮らせる環境を残すためにはどうすれば良いと思いますか？

- これからもチョウの観察を続けていけば、森の環境変化に気づくことができると思う。
- チョウと食草の関係がわかったので、地域の自然に合った食草を残していくようにしたい。